

様へ

看護師

月日	月 日		月 日
経過	当日 (治療前)		当日 (治療後) 退院日
目標	○治療のための準備ができる ○不安なく治療を受けることができる		○穿刺部位の異常(出血、発赤、腫れ)がない ○38℃以上の発熱がない ○安静が守れる ○生活習慣改善のための行動目標がたえられる
検査			○退院後 生活上の注意点が言える ○生活習慣改善のための行動目標を宣言できる
食事	治療の開始時間により □延食になります(昼) □軽食になります(昼) □いつも通り食事を済ませてください ※水分の制限はありません		治療後より飲食可能です
	朝食は自宅	看護師が説明します	朝食後、退院できます
処置・観察	毛剃りを行う場合があります(部位 )	体温、脈拍、血圧を1~2時間ごとに測ります	体温、脈拍、血圧を測ります(1回/日)
	リストバンドを手首か足首に装着します(退院日まで装着します) 治療前に体温、脈拍、血圧を測ります 午前・午後 時から治療が始まります 点滴の針を入れます 尿の管を入れます	<肘穿刺の場合> 出血を予防するため止血バンドをします 6時間後に、看護師がシーネをはずし、包帯を巻きます 出血・血腫などの有無を確認します	朝に医師が穿刺部位の確認をします 尿の管を抜きます 退院時にリストバンドを外します
注射・内服	※常用薬を持参し看護師にお渡しください 普段の薬は、治療前の指示に従って内服してください	点滴がついたまま病室に戻ります 点滴終了後も管は抜かずに残します	点滴の管を抜きます 容態により退院後のお薬が出ます
	治療前にトイレを済ませ 化粧をとり、入れ歯、時計、アクセサリ、眼鏡を外してください 検査着に着替えてください 車椅子で治療室に行きます	治療した部位は曲げたりついたりせず、できるだけ動かさないでください 治療後、説明があるまでベッドでの安静ですがトイレまでの歩行はできます <肘穿刺の場合> 医師の指示により制限なくなります <鼠径穿刺の場合> 翌朝まで床上安静です	医師の検創後、制限ありません 退院した日はシャワーのみ 退院翌日から入浴できます
説明	医師より説明 入院後の検査や治療計画について	医師より説明 治療結果と今後の治療計画について(治療当日または翌日)	看護師より説明 退院後の療養について
	看護師より説明 入院生活について 治療前後の処置や安静について 生活習慣について	看護師より説明 治療後の安静について	

\*入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。  
 \*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。  
 \*入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
 \*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。